

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	綿村 英一郎	所属	東京大学大学院人文社会系 研究科
研究会等名称	公益社団法人日本心理学会公正研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>第1回 会員 11名 (うち認定心理士 1名) 非会員 5名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>第2回 会員 8名 (うち認定心理士 1名) 非会員 6名 (うち認定心理士 1名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>●今年度は、公正概念に関わる社会的側面として、刑事裁判と刑事政策をとりあげ、実務に携わる講師および心理学を専攻する大学院生による研究発表が計6件あり、それぞれについてディスカッションを行った。</p> <p>●第1回目は、2015年11月14日(土)、法政大学市ヶ谷キャンパスにて、宮村啓太弁護士による「刑事弁護実務現状と悩み」というタイトルでの発表が行われた。刑事裁判における量刑判断は、被告人の命運を決めるという極めて重要な判断であるにもかかわらず、その実態はブラックボックスの中にあり、実務家にとっても結論の予測や根拠の説明は難しい。この発表では、そのブラックボックスの中で何が行われているのか、心理学者側から認知バイアスなどの可能性が提案され、活発な議論がなされた。さらに、大学院生2名により、刑事裁判に関する実証的研究についての発表があった。</p> <p>●第2回目は、2016年3月6日(日)、立命館大学朱雀キャンパスにて、京都府警生活安全対策課子どもと女性を守る対策室・西田勝志室長による「子どもや女性を対象にした犯罪被害の現状と対策等について」というタイトルでの発表が行われた。コメンテーターには、木下富男先生(国際高等研究所・京都大学名誉教授)をお呼びした。子どもや女性は性犯罪の被害者になりやすいが、その被害の現状や原因を把握したうえで、効果的な防犯政策や心のケアにどう生かせばよいのか、加害者に対する処遇とのバランスもふまえて検討した。さらに、大学院生2名により、痴漢被害や虚偽検出に関する実証的研究についての発表があった。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>●研究集会に参加した研究者にはこの分野に関心が高い者が多く、実務家の“生”の考えを聞ける貴重な機会として役立ったと思われる。とはいえ、刑事裁判と刑事政策を切り口として公正概念を検討するという当初の計画に対し、議論が社会的効用にやや偏ってしまい、理論的・学術的な検討があまりなされなかったという点では不十分であった。次のステップでは、集会を時間的に区切り、ディスカッションの視点を変えたり、関連する文献の読書会を行うなど、今回の反省点をふまえた改善を心がけたい。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会公正研究会				
研究集会開催日：2015年 11月 14日（第1回）				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	綿村 英一郎	東京大学大学院人文社会系研究科	100385	なし
2	佐伯 昌彦	千葉大学法政経学部	なし	なし
3	新岡 陽光	法政大学大学院人文科学研究科	140284	なし
4	若林 宏輔	立命館大学文学部	60244	なし
5	板山 昂	関西国際大学人間科学部	80288	23823
6	岩谷 舟真	東京大学大学院人文社会系研究科	150344	なし
7	中田 友貴	立命館大学大学院文学研究科	130384	なし
8	寺口 司	大阪大学大学院人間科学研究科	なし	なし
9	谷辺 哲史	東京大学大学院人文社会系研究科	150121	なし
10	清水 計法	大阪大学大学院人間科学研究科	なし	なし
11	唐沢 穰	名古屋大学情報文化学部	875307	なし
12	喜入 暁	法政大学大学院人文科学研究科	120079	なし
13	川嶋 伸佳	京都文教大学総合社会学部	80317	なし
14	伊東 裕司	慶應義塾大学 文学部	874460	なし
15	宮村 啓太	あさひ法律事務所	なし	なし
16	鶴田 智	大阪大学大学院人間科学研究科	なし	38817
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
公益社団法人日本心理学会公正研究会				
研究集会開催日：2016年 3月 6日 (第2回)				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	綿村 英一郎	東京大学大学院人文社会系研究科	100385	なし
2	川嶋 伸佳	京都文教大学総合社会学部	80317	なし
3	新岡 陽光	法政大学大学院人文科学研究科	140284	なし
4	若林 宏輔	立命館大学文学部	60244	なし
5	板山 昂	関西国際大学人間科学部	80288	23823
6	伊東 裕司	慶應義塾大学 文学部	874460	なし
7	中田 友貴	立命館大学大学院文学研究科	130384	なし
8	寺口 司	大阪大学大学院人間科学研究科	なし	なし
9	清水 計法	大阪大学大学院人間科学研究科	なし	なし
10	桑村 梨恵	関西国際大学人間科学部	なし	なし
11	鶴田 智	大阪大学大学院人間科学研究科	なし	38817
12	大高 実奈	法政大学大学院人文科学研究科	なし	なし
13	豊住 伸夫	法務省神戸少年鑑別所	なし	なし
14	木下 富男	(公財) 国際高等研究所	872353	なし
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2016年 3月 9日

日本心理学会研究会 2015年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会公正研究会

研究会番号 研15005

助成金額 ¥50,000

年月日	項目	金額
2015年11月14日	第1回目講演料および交通費（宮村啓太弁護士）	¥25,000

支出合計 ¥25,000